建設キャリアアップシステム　キャリアが見える。評価が変わる。

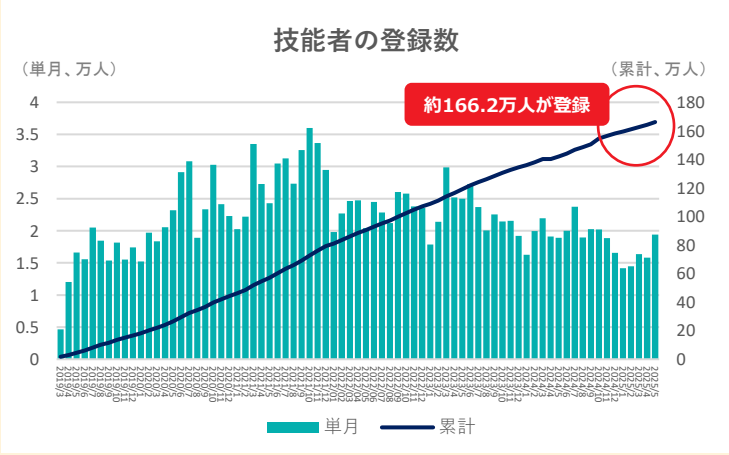
技能者一人ひとりの資格や就業履歴を“見える化”し、建設現場での評価や処遇の改善へ。建設業振興基金は建設キャリアアップシステム（CCUS）の運営主体として、建設技能者の処遇改善と現場管理の効率化などを通じた生産性向上を推進しています。

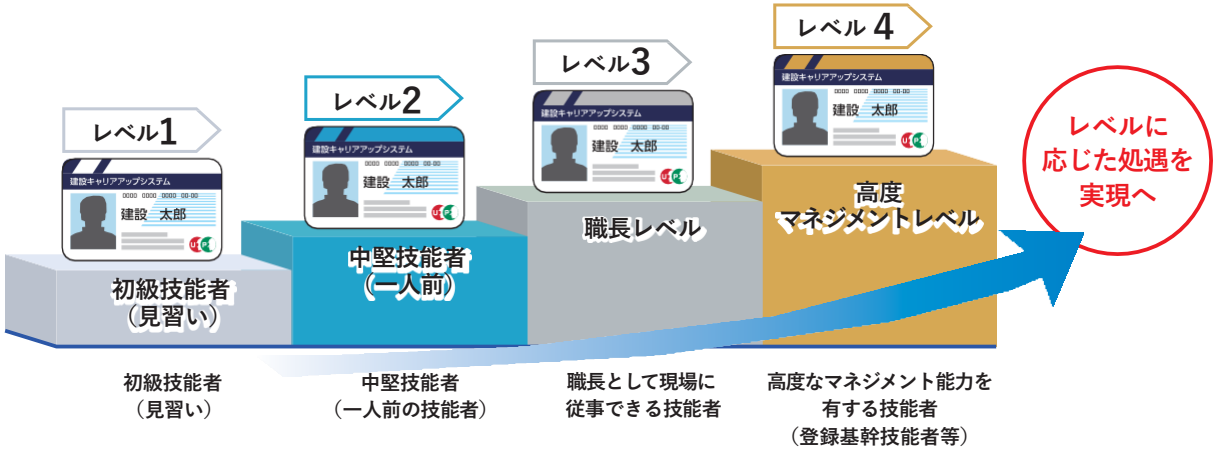
CCUSとは？

建設キャリアアップシステム（CCUS）は、技能者の保有資格・講習歴・就業履歴などを一元的に記録・蓄積するデータベースです。現場でのカード認証等により、現場に従事する技能者がどのようなスキル・経験を持っているのかがすぐに確認できる仕組みで、技能の評価、労務管理の効率化にもつながります。

約166万人の技能者と約19.3万社が登録済。

CCUS登録技能者は約166万人となり、技能者2人に1人以上が利用する水準に。事業者（一人親方除く）は約19.3万社が登録済みです。
（2025年5月末実績）





スマホアプリ『建キャリ』登場！

「建キャリ」は、CCUSに登録している基本情報や就業履歴などをいつでも閲覧可能。
また、 CCUS応援団の各種特典も確認可能！

\ ダウンロードはこちら /

iPhone　Android

CCUS活用のメリット

〈技能者にとって〉

- 資格・実績が正当に評価されやすくなる
- 転職やキャリア形成に有利
- レベル判定により成長目標が明確に

〈企業にとって〉

- 現場入場管理など現場管理の効率化
- 技能レベルに応じた人材配置が可能
- 国・自治体の発注工事での対応要件にも合致

2025年度重点取組

- 就業履歴の蓄積促進
- 建設技能者能力評価制度の支援・推進（能力向上促進施策の推進）
- システムの安定的な運用、次期システム更新（2028年1月予定）